

水産物の市況について(令和8年4月及び令和8年5月)

—東京都中央卸売市場における令和8年4月(令和8年3月21日～令和8年4月20日集計)の市況と、
令和8年5月の市況見通し(前月との比較)—

I 令和8年4月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、前月からかなり増加で推移し、前年同月比から横ばいで推移しました。卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、前月からかなり強含みで推移し、前年同月比ではやや強含みで推移しました。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

II 令和8年5月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

三陸～常磐沖で北上群の漁獲が本格化するのに入梅の頃と予想される。今後、東京への入荷量は横ばい、卸売価格は横ばいで推移すると見込まれます。

「さけ類(塩蔵品・冷凍品)」

東京への入荷量はチリ産銀ざけ主体に横ばい、さけ類全般が高値で推移していることから、卸売価格は高値・横ばいと見込まれます。

「さば(生鮮品)」

産地の水揚げは低調に推移するとみられ、東京への入荷量は横ばい、産卵の盛期に入り身質が低下することから、卸売価格はやや弱含みで推移すると見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

全国的に水揚量は低調な状態が続くとみられ、生鮮物の東京への入荷量は少なく・横ばい、卸売価格は横ばいで推移すると見込まれます。冷凍物は、入荷量は横ばい、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

九州を中心に水揚量は徐々に増加するとみられ、東京への入荷量はやや増加し、卸売価格はやや弱含みで推移すると見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

東京への入荷量は、全体では供給面の不透明感から横ばい～やや減少、卸売価格は原料相場の上昇を背景にやや強含みで推移すると見込まれます。

「かつお(生鮮品)」

産地の水揚量が増加すると予想され、東京の入荷量は増加し、卸売価格は弱含むと見込まれます。

注:東京への入荷量及び卸売価格の推移は、前月との比較。なお、「高値/安値」については過去5年の平均水揚量及び平均卸売価格と比較。

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	4月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
8年	28	1,623	22	1,681	24	1,722
前年	29	1,541	21	1,578	25	1,611

注1: 入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

注2: 入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主要品目の価格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	4月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
まいわし(生鮮品)	466	100	114	118
さけ類(平均)	1,304	90	89	114
(ぎんざけ塩蔵品)	1,357	98	95	118
(あきさけ塩蔵品)	1,129	86	98	121
(べにざけ塩蔵品)	1,780	105	99	123
(さけ類冷凍品)	1,275	87	87	112
さば(生鮮品)	623	88	122	133
するめいか(平均)	1,576	101	99	152
(生鮮品)	1,657	105	110	149
(冷凍品)	1,531	100	90	120
あじ(生鮮品)	806	102	107	140
まぐろ(冷凍品)	2,402	108	143	144
(めばち冷凍品)	1,562	102	137	134
(きはだ冷凍品)	1,680	101	166	154
(くろまぐろ冷凍品)	3,906	99	114	118
(みなみまぐろ冷凍品)	2,367	105	114	111
かつお(生鮮品)	728	72	73	94

注1: 品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2: 4月の価格は1~20日までの速報値を元に算出。平年とは令和3年~令和7年の加重平均値。

注3: さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4: まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先: 水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6618 中島、戸根

直通 03-3591-5613